

大学コンソーシアム岡山における遠隔教育Ⅱ

竹内 渉

岡山理科大学 情報処理センター

Key Words : 遠隔教育、e-Learning、テレビ会議システム、VOD 方式、大学連携

1. はじめに

大学コンソーシアム岡山が、平成 21 年度から平成 23 年度の期間で文部科学省「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」に選定された「岡山オルガノンの構築—学士力・社会人基礎力・地域発信力の融合を目指した教育—」事業 [1] の内の 1 つであった遠隔教育を平成 24 年度より継承しており、岡山県内 15 大学が連携して遠隔教育を行っている[2,3]。

大学コンソーシアム岡山における遠隔教育は、テレビ会議システムを用いた双方向ライブ型教育とインターネットを活用した VOD 型教育の 2 方式で実施されており、平成 24 年度に引き続き[4]平成 25 年度の遠隔教育の成果や平成 26 年度に向けての課題点を記述する。

2. 平成 25 年度の遠隔教育

(1) ライブ型遠隔教育

平成 24 年度の大学コンソーシアム岡山では、前期 7 科目、後期 6 科目の合計 13 科目のライブ型講義が開講され、配信大学数は 9 大学であった[4]。平成 25 年度の大学コンソーシアム岡山において、前年度よりも科目数は 3 科目減少して、前期 4 大学から 5 科目、後期 5 大学から 5 科目の合計 10 科目のライブ型講義が表 1 の通り開講された。

表 1 平成 25 年度双方向ライブ型遠隔講義科目

配信大学名	開講期間	科目名
岡山大学	前期	大学と社会
	前期	テレビゲームからみる情報科学概論
	後期	雪から読み解く地球環境
岡山県立大学	後期	音楽の鑑賞
岡山商科大学	前期	経営学特殊講義Ⅰ
	後期	経営学特殊講義Ⅱ
川崎医科大学	前期	健康と、それを取り巻く環境
環太平洋大学	後期	スポーツ栄養学
倉敷芸科大学	前期	倉敷まちづくり基礎論
山陽学園大学	後期	ボランティア論

(2) VOD型遠隔教育

平成24年度の大学コンソーシアム岡山では、13大学から前期7科目、後期15科目の合計22科目のVOD型講義が配信された[4]。平成25年度の大学コンソーシアム岡山において、科目数は前年度より1科目減少して、前期5大学から6科目、後期11大学から15科目の合計21科目のVOD型講義が表2の通り開講された。

表2 平成25年度VOD型遠隔講義科目

大学名	開講期間	科目名
岡山大学	後期	学習支援システムが概論
岡山県立大学	前期	解析学I
岡山学院大学	後期	食に関する健康学
岡山商科大学	後期	パーソナルファイナンス
岡山理科大学	前期	インターネット入門
	後期	インターネット入門
	前期	アルゴリズム入門
	後期	アルゴリズム入門
	後期	環境考古学
	後期	岡山学
川崎医科大学	後期	健康と、それを取り巻く環境
川崎医療福祉大学	前期	睡眠学
環太平洋大学	後期	レクリエーション論
吉備国際大学	前期	水質環境論
	後期	身体運動学
くらしき作陽大学	前期	食心理学
山陽学園大学	後期	現代中国論
就実大学	後期	日本人の思想
	後期	日本美術史b
中国学園大学	後期	運動生理学
ND清心女子大学	後期	考古学II

3. 平成25年度の遠隔教育の成果と課題

平成25年度の大学コンソーシアム岡山における遠隔教育の成果を記述する前に、平成24年度における大学コンソーシアム岡山の遠隔教育の受講状況について述べる[4]。表3で表示されているように、ライブ型講義の受講生数は、前期9名、後期7名の合計16名であった。ライブ型講義において僅かな受講生数であることが最も想定される理由は各大学の授業時間割の違いである。他方、VOD型講義の受講生数は前期121名、後期414名の合計535名であり、それ相応の成果があった。但し、受講生535名中の322名、すなわち約6割が本学の学生であった。

平成25年度の大学コンソーシアム岡山における遠隔教育の受講生数が表4に示されている。ライブ型講

義の受講生数は、前期 18 名、後期 15 名の合計 33 名であり、受講生数は少ない。しかしながら、平成 25 年度でのライブ型配信講義科目数は平成 24 年度よりも 3 科目減少しているにも拘らず、複数の特定科目に受講の集中のためにライブ型講義の受講生数は倍増している。このことより、魅力ある講義科目であれば各大学の授業時間割の違いがあっても、受講する学生数をある程度見込めることが可能であると考えられる。したがって、学生への魅力的な開講科目等の広報活動は各大学において当然必要である。一方、VOD型講義科目では、受講生数は前期 120 名、後期 392 名の合計 512 名であった。平成 24 年度よりも配信科目が 1 科目減少したことを考慮すると、前年度とほぼ同数の受講生数であったと断言できる。したがって、VOD型講義では遠隔教育の成果が一応現れている。尚、受講生 512 名の中で、本学学生が 376 名であり、全体の約 7 割強を占めている。

表 3 平成 24 年度「大学コンソーシアム岡山」遠隔教育の受講生数

期	区分	配信大学	科目名	岡大	県大	学院	商大	理大	医大	医福	環大	吉備	倉芸	作陽	山陽	就実	中国	清心	計	
前期	ライブ	岡山大	大学と社会	△	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
			テレビゲームからみる情報科学概論	△	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
		岡山商科大	経営学特殊講義 I	1	0	0	△	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		川崎医科大	健康と素因・環境そして生活	0	0	0	0	2	△	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		倉敷芸科大	倉敷まちづくり基礎論	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△	0	0	0	0	0	0
			まちづくりインターシッブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△	0	0	0	0	0	0
		くらしき作陽大	特別支援教育総論	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	△	0	0	0	1	2
		ライブ合計	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	1	9	
	VOD	岡山大	実践パーソナルコンピューティング入門	△	0	0	0	11	0	2	4	0	0	1	0	2	0	0	20	
		岡山県立大	解析学 I	1	△	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	
		岡山理科大	環境と社会	3	0	0	0	△	0	3	6	0	0	0	1	0	0	0	13	
			インターネット入門	1	0	0	0	△	0	1	1	△	△	0	0	2	0	0	5	
			アルゴリズム入門	1	0	0	0	△	0	0	1	△	△	0	0	0	0	0	2	
		川崎医科大	睡眠学	7	0	0	0	0	0	0	2	0	3	3	6	11	0	4	36	
くらしき作陽大		食心理学	3	0	0	0	18	0	4	6	0	3	△	1	4	0	3	42		
	VOD合計	16	0	0	0	29	0	10	22	0	6	4	8	19	0	7	121			
平成24年前期合計				17	0	0	0	31	0	10	22	0	8	4	8	22	0	8	130	
後期	ライブ	岡山県立大	音楽の鑑賞	0	△	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	
		岡山商科大	経営学特殊講義 II	0	0	0	△	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	
		環太平洋大	スポーツ栄養学	0	1	0	0	0	0	0	△	0	0	0	0	0	0	0	1	
		倉敷芸科大	倉敷まちづくり実践論	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△	0	0	0	0	0	0	
		山陽学園大	宗教思想	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	△	0	0	0	2	
		中国学園大	現代子ども学入門	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△	0	0	0	
		ライブ合計	0	1	0	0	4	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	7		
	VOD	岡山大	学習支援システム概論	*9	0	0	0	25	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	27	
		岡山学院大	食に関する健康学	11	0	△	1	84	0	0	2	0	2	5	2	0	0	0	107	
		岡山商科大	パーソナルファイナンス	12	0	0	△	14	0	1	2	0	0	1	0	0	0	30		
		岡山理科大	アルゴリズム入門	0	0	0	0	△	0	0	0	△	△	0	0	0	0	0	0	
			インターネット入門	2	0	0	0	△	0	0	0	△	△	0	0	0	0	0	2	
			環境と社会	2	0	0	0	△	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	4	
			環境考古学	1	0	0	0	△	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	6	
岡山学		3	0	0	0	*18	0	0	0	0	0	1	2	4	0	0	10			
川崎医科大		健康と素因・環境そして生活	2	0	0	0	10	△	0	0	0	0	1	2	0	0	0	15		
環太平洋大		レクリエーション論	0	0	0	0	17	0	0	△	0	0	0	0	0	0	0	17		
吉備国際大	スポーツ産業論	5	3	0	0	43	0	0	6	*23	0	0	1	1	0	1	60			
山陽学園大	現代中国論	6	0	0	0	23	0	0	2	0	0	0	△	1	0	0	32			
就実大	日本人の思想	4	0	0	0	20	0	0	6	0	1	1	0	△	0	0	32			
	日本美術史b	2	0	0	0	19	0	0	4	0	0	1	0	△	0	0	26			
中国学園大	運動生理学	4	0	0	1	38	0	0	0	0	0	1	2	0	△	0	46			
	VOD合計	54	3	0	2	293	0	1	25	0	4	15	9	7	0	1	414			
平成24年後期合計				54	4	0	2	297	0	1	25	0	5	16	9	7	0	1	421	
平成24年度合計				71	4	0	2	328	0	11	47	0	13	20	17	29	0	9	551	

* 印：岡山大学・岡山理科大学・吉備国際大学では、自学の学生が利用

平成 25 年度のライブ型講義では、平成 24 年度よりも受講生数は倍増しているが、受講生数は多いとは

断言できない。前述したように、学生にとって非常に興味ある魅力的な科目であれば各大学の授業時間割の違いがあっても、受講生数をある程度見込めることは実証されている。しかしながら、ライブ型講義での受講生数を増やし、よりアクティブにする方策として、各大学の時間割の違いを克服することが当然不可欠な条件である。このため、平成25年度の大学コンソーシアム岡山の対面・遠隔講義委員会において、新しい試みとして概略的な実施計画が提案され、その後にはライブ授業担当の関係者で具体的な実施計画案が検討されている。ここで、現時点でのその実施計画案を簡単に紹介する。時間割として比較的共通時間枠を設定し易い夕刻の時間帯に、4大学においてボランティア関係の講義をそれぞれ開講し、各大学は50分間程度の共通時間枠のコアタイムにオムニバス形式で「岡山オルガノン」や大学コンソーシアム岡山において今までに実績を作り上げている「日ようび子ども大学」、「エコナイト」、「東日本大震災復興ボランティア」活動等の講義内容を担当して、それを他大学へライブ授業として配信する。コアタイム以外の時間帯では、個々の大学において毎回の講義内容に関してディスカッションするという方法である。この実施方法によるライブ型遠隔教育の成果が平成26年度において期待されている。

表4 平成25年度「大学コンソーシアム岡山」遠隔教育の受講生数

期	区分	配信大学	科目名	岡大	県大	学院	商大	理大	医大	医福	環大	吉備	倉芸	作陽	山陽	就実	中国	清心	計	
前期	ライブ	岡山大	大学と社会	/	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
			テレビゲームからみる情報科学概論	/	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	1	7
		岡山商科大	経営学特殊講義Ⅰ	3	0	0	/	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	8
		川崎医科大	健康と、それを取り巻く環境	0	0	0	0	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		倉敷芸科大	倉敷まちづくり基礎論	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0	0	0	0	0	0	0
			ライブ合計	3	0	0	3	2	0	0	1	0	4	0	0	3	0	2	18	
	VOD	岡山県立大	解析学Ⅰ	1	/	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	4	
		岡山理科大	インターネット入門	2	0	0	1	/	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	7	
			アルゴリズム入門	1	0	0	0	/	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	4	
		川崎医福大	睡眠学	8	0	0	1	25	0	/	2	0	3	0	1	6	0	6	52	
		吉備国際大	水質環境論	4	0	0	0	16	0	0	1	/	1	0	1	0	0	0	23	
		くらしき作陽大	食心理学	9	1	0	1	11	0	0	1	0	3	/	0	3	0	1	30	
			VOD合計	25	1	0	3	52	0	0	5	0	7	2	4	14	0	7	120	
	平成25年前期合計				28	1	0	6	54	0	0	6	0	11	2	4	17	0	9	138
後期	ライブ	岡山大	雪から読み解く地球環境	/	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
		岡山県立大	音楽の鑑賞	1	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	
		岡山商科大	経営学特殊講義Ⅱ	0	0	0	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		環太平洋大	スポーツ栄養学	3	0	0	0	2	0	0	/	0	0	0	0	0	0	0	5	
		山陽学園大	ボランティア論	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0	0	0	0	0	
			ライブ合計	4	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	15	
	VOD	岡山大学	学習支援システム概論	0	0	0	0	37	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	40	
		岡山学院大	食に関する健康学	5	0	/	0	61	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	70	
		岡山商科大	パーソナルファイナンス	5	0	0	/	27	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	35	
		岡山理科大	アルゴリズム入門	0	0	0	0	/	0	0	0	0	/	0	0	0	0	0	0	
			インターネット入門	0	0	0	0	/	0	0	1	0	/	0	0	0	0	0	1	
			環境考古学	0	0	0	0	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		岡山学	岡山学	2	0	0	0	*67	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	
		川崎医科大	健康と、それを取り巻く環境	0	0	0	1	2	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
環太平洋大		レクリエーション論	3	0	0	0	17	0	0	/	0	0	0	0	0	0	0	20		
吉備国際大		身体運動学	4	0	0	1	56	0	0	2	/	0	0	1	0	0	0	64		
山陽学園大		現代中国論	4	0	0	0	28	0	0	1	0	0	0	/	1	0	0	34		
就実大		日本人の思想	8	0	0	1	39	0	0	2	0	0	1	0	/	0	0	51		
		日本美術史b	4	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	1	/	0	0	26		
中国学園大	運動生理学	3	0	0	1	34	0	0	0	0	0	0	1	0	/	1	40			
ND清心女子大	考古学Ⅱ	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	/	0	5			
	VOD合計	40	0	0	4	324	0	0	7	0	2	1	9	3	0	2	392			
平成25年後期合計				44	0	0	4	334	0	0	7	0	2	1	10	3	0	2	407	
平成25年度合計				72	1	0	10	388	0	0	13	0	13	3	14	20	0	11	545	

* 印 岡山理科大学では自学の学生が利用

VOD型講義では受講の時間や場所が制約されないために、平成24年度と同様に平成25年度においても一応の成果が得られているが、本学以外の大学ではまだまだ受講生数を増やせる方策はある。本学以外の大学では、本学のように単位互換科目の認定単位数の上限を多くし、他大学の魅力的な且つ特徴的な主に教養系科目等の単位互換を今まで以上にアクティブに行うことにより、進学希望大学が地元志向傾向である昨今では岡山県内は当然のこと、県外からも各大学において入学者を多く呼び込める可能性がある。また、遠隔教育制度の普及や広報活動を地道に引き続き行うことが要求される[4]。これらのことにより、いずれ遠隔教育が学生に周知徹底されれば、受講生数は現状よりも増加すると想定され、大学コンソーシアム岡山の遠隔教育が岡山県内の大学連携発展に大いに寄与するだろう。

4. おわりに

平成25年度の大学コンソーシアム岡山における遠隔教育として、ライブ型講義での受講生数は少ないが、VOD型講義での受講生数は一応の好成果を得ている。平成26年度の大学コンソーシアム岡山において、ライブ型講義の受講生数を増やし、よりアクティブにするために、新しい試みとして複数大学によるボランティア関係の科目をオムニバス形式で実施することが決定しており、この授業方法の成果が期待されている。VOD型講義を含めた遠隔教育において、さらに実りある成果を得るためには、各大学での単位互換科目の認定単位数上限を増やすための学則変更や遠隔教育の普及および広報活動を遂行することが不可欠である。

謝辞

遠隔教育の受講生数データを集計し、提供戴いた大学コンソーシアム岡山事務局の岡戸真理子氏に深く感謝の意を表します。

参考文献

- [1] 岡山オルガノン公式ホームページ, <http://okayama-organon.jp/>.
- [2] まなびオルガノン, <https://manabi-organon.jp/>.
- [3] 大学コンソーシアム岡山, <http://www.consortium-okayama.jp/>.
- [4] 竹内 渉, 岡山理科大学情報処理センター研究報告, 第34号, 55, 2013年3月.